

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】(ユニット4)

|         |                |            |            |
|---------|----------------|------------|------------|
| 事業所番号   | 0171400146     |            |            |
| 法人名     | 社会福祉法人敬聖会      |            |            |
| 事業所名    | グループホームききょう 幸  |            |            |
| 所在地     | 北海道函館市桔梗町557番地 |            |            |
| 自己評価作成日 | 平成28年11月10日    | 評価結果市町村受理日 | 平成29年2月20日 |

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

|             |   |
|-------------|---|
| 基本情報リンク先URL | <a href="http://www.kaijokensaku.jp/01/index.php?action_kouhyou_detail_2016_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=0171400146-008&amp;PrefCd=01&amp;VersionCd=022">http://www.kaijokensaku.jp/01/index.php?action_kouhyou_detail_2016_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=0171400146-008&amp;PrefCd=01&amp;VersionCd=022</a> |
|-------------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

|       |                             |
|-------|-----------------------------|
| 評価機関名 | 企業組合グループ・ダイナミクス総合研究所 介保調査部  |
| 所在地   | 札幌市手稲区手稲本町二条三丁目4番7号ハタナカビル1階 |
| 訪問調査日 | 平成29年1月12日                  |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

|  |
|--|
| 利用者や職員が生活を共にするという考えを大切に、ゆったりとした空間であるよう努めている。<br><br>加齢による心身の変化についても事業所看護師、敷地内の協力病院と密に連携を取り出来る限り本人と家族の意向に沿って対応できるように努めている。<br><br>ケアの質の向上を目的に、職員個々のレベルに応じた研修へ参加したり内部研修を行い、スキルアップに励んでいる。 |
|--|

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

|  |
|--|
|  |
|--|

V サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取組を自己点検した上で、成果について自己評価します

| 項目  | 取組の成果      |  | 項目   | 取組の成果      |   |
|---|------------|--|--|------------|---|
|   | ↓該当するものに○印 |  |  | ↓該当するものに○印 |   |
| 56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向をつかんでいる<br>(参考項目:23、24、25)      | ○          | 1 ほぼ全ての利用者の<br>2 利用者の2/3くらい<br>3 利用者の1/3くらい<br>4 ほとんどつかんでいない | 63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている<br>(参考項目:9、10、19)   | ○          | 1 ほぼ全ての家族と<br>2 家族の2/3くらいと<br>3 家族の1/3くらいと<br>4 ほとんどできていない    |
| 57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある<br>(参考項目:18、38)             | ○          | 1 毎日ある<br>2 数日に1回程度ある<br>3 たまにある<br>4 ほとんどない                 | 64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている<br>(参考項目:2、20)                     | ○          | 1 ほぼ毎日のように<br>2 数日に1回程度<br>3 たまに<br>4 ほとんどない                  |
| 58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている<br>(参考項目:38)                   | ○          | 1 ほぼ全ての利用者が<br>2 利用者の2/3くらいが<br>3 利用者の1/3くらいが<br>4 ほとんどいない   | 65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている<br>(参考項目:4) | ○          | 1 大いに増えている<br>2 少しずつ増えている<br>3 あまり増えていない<br>4 全くない            |
| 59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている<br>(参考項目:36、37)     | ○          | 1 ほぼ全ての利用者が<br>2 利用者の2/3くらいが<br>3 利用者の1/3くらいが<br>4 ほとんどいない   | 66 職員は、活き活きと働いている<br>(参考項目:11、12)                                      | ○          | 1 ほぼ全ての職員が<br>2 職員の2/3くらいが<br>3 職員の1/3くらいが<br>4 ほとんどいない       |
| 60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている<br>(参考項目:49)                  | ○          | 1 ほぼ全ての利用者が<br>2 利用者の2/3くらいが<br>3 利用者の1/3くらいが<br>4 ほとんどいない   | 67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                                       | ○          | 1 ほぼ全ての利用者が<br>2 利用者の2/3くらいが<br>3 利用者の1/3くらいが<br>4 ほとんどいない    |
| 61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている<br>(参考項目:30、31)         | ○          | 1 ほぼ全ての利用者が<br>2 利用者の2/3くらいが<br>3 利用者の1/3くらいが<br>4 ほとんどいない   | 68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                                   | ○          | 1 ほぼ全ての家族等が<br>2 家族等の2/3くらいが<br>3 家族等の1/3くらいが<br>4 ほとんどできていない |
| 62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている<br>(参考項目:28) | ○          | 1 ほぼ全ての利用者が<br>2 利用者の2/3くらいが<br>3 利用者の1/3くらいが<br>4 ほとんどいない   |  |            |   |

## 自己評価及び外部評価結果

| 自己評価              | 外部評価 | 項目  | 自己評価   | 外部評価 |                   |
|-------------------|------|---|--|------|-------------------|
|                   |      |   | 実施状況   | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>I 理念に基づく運営</b> |      |   |  |      |                   |
| 1                 | 1    | ○理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念を作り、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている   | スタッフルームに理念を掲示し、常に確認できるようにしている。ミーティングなどで事例に対して迷いが生じたときには理念を振り返り実践につなげている。 |      |                   |
| 2                 | 2    | ○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している  | ヤクルトレディの訪問や、地域の訪問販売に来ていただき世間話をしながら買い物をしている。スーパーや、飲食店、美容室を利用し、交流の機会を持つてる。 |      |                   |
| 3                 |      | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている  | 運営推進会議や花見、夏祭りに家族に参加していただき、実際の生活の様子や支援の方法を知っていただける機会としている。                |      |                   |
| 4                 | 3    | ○運営推進会議を活かした取組<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組状況等について報告や話し合いを行い、その意見をサービス向上に活かしている   | 運営推進会議ではユニットごとに生活の様子や困難事例について報告をし、意見を交換できるよう働きかけている。                     |      |                   |
| 5                 | 4    | ○市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる  | 必要時に連絡を取り、困ったことについてアドバイスをいただいたり、協力していただいている。                             |      |                   |
| 6                 | 5    | ○身体拘束をしないケアの実践<br>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 防犯上、夜間は施錠しているがその他の時間帯は施錠していない。身体拘束については、研修にて学び、事業所に戻って確認している。            |      |                   |
| 7                 |      | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている                                      | 勉強会やミーティングにて虐待について学ぶ機会を持ち、日頃のケアと照らし合わせて未然防止に努めている。                       |      |                   |

| 自己評価                        | 外部評価 | 項目   | 自己評価   | 外部評価 |                   |
|-----------------------------|------|--|--|------|-------------------|
|                             |      |  | 実施状況   | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8                           |      | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している  | 研修に参加し、そこで学んだものを勉強会、ミーティングでスタッフと共有し、必要性のある利用者がいた際には対応できるようにしている。       |      |                   |
| 9                           |      | ○契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                       | 入居時、退居時に不安や疑問点を話せるよう、家族や利用者のペースで話し合いを進め、わかりやすい説明を行えるよう努力している。          |      |                   |
| 10                          | 6    | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                    | 意見箱の設置の他、アンケートを送付し、意見をうかがう機会を設けている。                                    |      |                   |
| 11                          | 7    | ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                                    | 毎日の申し送りや、ミーティングにて意見や提案できる機会を設け、反映できるよう努力している。                          |      |                   |
| 12                          |      | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている    | 理事長はできる限りホームに顔を出し、利用者の現状や職場環境の現状を把握し、整備に努めている。                         |      |                   |
| 13                          |      | ○職員を育てる取り組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている       | 個々のレベル、経験年数に応じて研修に参加してもらったり勉強会を開いている。また、キャリア段位制度を取り入れ、活用していけるよう努力している。 |      |                   |
| 14                          |      | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組をしている | 研修会に積極的に参加し、交流できるよう努めている。意見を交わしたり、事例について話し合ったりしている。                    |      |                   |
| <b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b> |      |  |  |      |                   |
| 15                          |      | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている      | 面談時に会話の中から困っていることや要望等を汲み取れるようにし、安心を確保できるよう努めている。                       |      |                   |

| 自己評価                              | 外部評価 | 項目   | 自己評価   | 外部評価 |                   |
|-----------------------------------|------|--|--|------|-------------------|
|                                   |      |  | 実施状況   | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 16                                |      | ○初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている       | サービス利用に至る前、電話相談や面会の段階で不安や要望等聞く機会を設けている。                            |      |                   |
| 17                                |      | ○初期対応の見極めと支援<br>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている   | 何を必要としているかを見極め、どのようなサービスが合っているのかを考えながら対応できるよう努めている。                |      |                   |
| 18                                |      | ○本人と共に過ごし支え合う関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている                      | できることは行ってもらえるような場面づくりをし、自然と役割を持てるような働きかけにて、相互に支え合っていける関係づくりを行っている。 |      |                   |
| 19                                |      | ○本人を共に支え合う家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている       | 入居前の情報をいただいたり、近況報告をして一緒に現状を見直していけるよう関係づくりに努めている。                   |      |                   |
| 20                                | 8    | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている                   | 生活歴の把握に努め、なじみの関係が途切れないよう、友人にも面会に来ていただき、継続していけるよう支援に努めている。          |      |                   |
| 21                                |      | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている               | 孤立せずに関わり合いが持てるよう、スタッフが介入したり、ソファの配置を工夫している。                         |      |                   |
| 22                                |      | ○関係を断ち切らない取組<br>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 退居後もお見舞いに行ったり、近況について聞く機会を持つなどし、必要に応じて支援できるよう努めている。                 |      |                   |
| <b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |      |  |  |      |                   |
| 23                                | 9    | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している                       | お話しできる方には希望や意向を聞いてみたり、伝えられない方については行動や言動からアセスメントし、希望を汲み取れるよう努力している。 |      |                   |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目   | 自己評価   | 外部評価 |                   |
|------|------|--|--|------|-------------------|
|      |      |  | 実施状況   | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 24   |      | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                       | 生活歴やこれまでの暮らし方についてできるだけ把握し、これまでのサービスについても利用していた事業所から経過をいただくなど、把握に努めている。 |      |                   |
| 25   |      | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている   | 日々の申し送りやミーティングなどにて共有し、把握に努めている。  |      |                   |
| 26   | 10   | ○チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 月に一度のミーティングにて、計画作成担当者を含めてモニタリングをし、家族からの意向も聞きながら介護計画を立てている。             |      |                   |
| 27   |      | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                        | 日々の記録をベースし、気づきや工夫は連絡ノートやアセスメント用紙に記入しモニタリングに活かしている。                     |      |                   |
| 28   |      | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスにとらわれない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる              | 本人の状態が変わったときにはアセスメントをし直し、柔軟に対応できるように努めている。                             |      |                   |
| 29   |      | ○地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している                         | 移動販売やヤクルトの訪問、出張理美容などの利用、民謡のボランティアなどに来ていただき楽しみの時間を持てるようにしている。           |      |                   |
| 30   | 11   | ○かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している                     | 提携病院にて定期的に主治医の診察を受け、家族へも報告し希望を大切にしながら医療を受けられるよう支援している。                 |      |                   |
| 31   |      | ○看護職員との協働<br>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している          | 状態の変化があったときには看護師に連絡をし、指示をもらい対応している。                                    |      |                   |



| 自己評価 | 外部評価 | 項目  | 自己評価   | 外部評価 |                   |
|------|------|---|--|------|-------------------|
|      |      |   | 実施状況   | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 32   |      | ○入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている、又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。  | 入院時の環境の変化を少しでも和らげることができるよう、頻りに顔を見に行ったり病院関係者と情報交換をし、状態によって早期退院できるようカンファレンスに参加するなどして関係づくりを行っている。 |      |                   |
| 33   | 12   | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者とともにチームで支援に取り組んでいる | 医師の指示のもと、家族と話し合い、事業所でできること等については指針等を用意して伝えたいうで進めていくようにしている。                                    |      |                   |
| 34   |      | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている  | 対応についてのマニュアルを作成し、AEDの使用法、応急処置についての講習を受けるなどして備えている。   |      |                   |
| 35   | 13   | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている  | 消防立ち合いのもと、日勤帯、夜勤帯の避難訓練を行っている。マニュアルについても職員が周知できるよう各ユニットすぐみられるところに置いている。                         |      |                   |

#### IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

|    |    |  |   |  |  |
|----|----|--|---|--|--|
| 36 | 14 | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている                | 失敗に対してはさりげなく対応するなどし、利用者の人格を尊重し、プライドを傷つけないよう配慮している。        |  |  |
| 37 |    | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている                     | 能力やレベルに応じた声かけをし、必要であれば選択肢をよいうにするなどし、自己決定ができるよう働きかけている。    |  |  |
| 38 |    | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望に沿って支援している | 利用者の意思や希望を大切にし、できる限り時間に縛られずに生活できるよう支援している。                |  |  |
| 39 |    | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している                                  | 好みの服や、これまで通りにメイクなどができるよう、また理美容は定期的もしくは希望時に利用できるように支援している。 |  |  |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目  | 自己評価   | 外部評価 |                   |
|------|------|---|--|------|-------------------|
|      |      |   | 実施状況   | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 40   | 15   | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている    | 職員と一緒に配膳を行ったり、献立表の他に次の食事のメニューをホワイトボードに書き出してもらうことで話題や楽しみとなるようにしているほか、好みのものを手作りして食べる機会を作るなどしている。 |      |                   |
| 41   |      | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている         | 食事水分量は個々の習慣や状態を踏まえてチェックし、申し送りにて共有している。   |      |                   |
| 42   |      | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている                  | 個人の状態に合わせて歯ブラシ、舌ブラシ、スポンジ等を使用し口腔ケアを行っている。入れ歯洗浄剤も使用している。   |      |                   |
| 43   | 16   | ○排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている  | 個々の排泄パターンの把握につとめ、タイミングを見てトイレ誘導を行っている。  |      |                   |
| 44   |      | ○便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる                  | 乳製品や食物繊維など、個人の合ったものを探し取り入れるようにしている。また体を動かす機会を作ったり、難しい場合には腹部マッサージを行うなどしている。                     |      |                   |
| 45   | 17   | ○入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に沿った支援をしている | できるだけ希望時に入ってもらえるように浴室の準備をしている。一人が良いかた、気の合う人と入りたい方など、個々に沿った対応をしている。                             |      |                   |
| 46   |      | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している                   | 個々の生活習慣やその時の状態に応じて、日中でも少し休んでいただいたり、消灯時間にこだわらず過ごしていただくなど柔軟にしている。                                |      |                   |
| 47   |      | ○服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている              | 処方については医師や看護師から説明を受けるほか、最新の処方箋はすぐみられるところに置き、理解に努めている。  |      |                   |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目   | 自己評価   | 外部評価 |                   |
|------|------|--|--|------|-------------------|
|      |      |  | 実施状況   | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 48   |      | ○役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている  | これまでの生活歴や嗜好を大切に、関連した役割をGHでも見つけていけるように努めている。気分転換にしても、外出、甘いものを食べる、体操をするなどその方の好みに合わせている。      |      |                   |
| 49   | 18   | ○日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望に沿って、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している                     | 日頃の会話の中から行きたいところを探り、計画を立てて普段はいけないところへも出かけられる機会を作っている。                                      |      |                   |
| 50   |      | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している  | 管理できる方には本人で持っていてほしい。また、普段は預かりの方にも外出時は手に持ってもらい、自ら支払いをする機会を設けている。                            |      |                   |
| 51   |      | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている   | 自由に電話をかけられたり、手紙のやり取りができるようにしている。   |      |                   |
| 52   | 19   | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 不快がないよう、音や光、温度等には注意を払っている。季節の飾りつけを利用者と相談したり一緒に飾り居心地よく過ごせるようにしている。                          |      |                   |
| 53   |      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている  | 他者とかかわれる空間と少し離れた空間をつくり、思い思いに過ごせるようにしている。   |      |                   |
| 54   | 20   | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている  | 入居時に自宅から使い慣れたものを持ってきていただけるようお願いしている。家族が写真を持ってきて飾ったりすることも自由に行っていただいている。                     |      |                   |
| 55   |      | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している  | 表札に個々の飾りや写真を飾ったり、居室カーペットの色を交互で変えてわかりやすくしている。利用者の導線に余計なものを置かず、使用するものは見えやすいところに置くなどの工夫をしている。 |      |                   |